

製品名: NMDAR2B ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86655**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:166 kDa; Observed MW:166 kDa

抗原情報

遺伝子名	NMDAR2B
別名	NR2B; GluN2B; Nmdar2b; AW490526
遺伝子 ID	14812
SwissProt ID	Q01097
免疫原	マウス NMDAR2B の合成ペプチド

背景

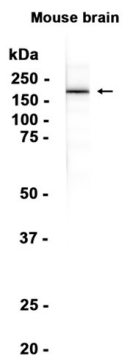
グルタミン酸依存性イオンチャネルの NMDA 受容体サブタイプ。高いカルシウム透過性とマグネシウムに対する電圧依存的な感受性

を示す。グリシンを介する。シナプス外部位において DAPK1 と協調して、脳卒中障害の中核メディエーターとして作用する。DAPK1 による Ser-1303 のリン酸化は、シナプス NMDA 受容体チャネルの活性を増強し、それらを介して有害な Ca²⁺流入を誘導し、不可逆的な神経細胞死を引き起こす。

研究分野

-

画像データ



NMDAR2B ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。